

公益社団法人 高知県理学療法士協会 令和2年度（第9回）定時総会議事録

1. 日時：令和2年6月14日（日） 10時00分～10時50分
2. 場所：高知会館2階 白鳳
3. 出席者：会長；宮本  
理事；大畑・小笠原・日野・山崎・西村・和田・稲岡・八坂・東・井上  
監事；山田・徳平
4. 総会次第
  - 1) 開会のことば：井上佳和 事務局長
  - 2) 会長挨拶：宮本謙三 会長
  - 3) 定足数報告：井上佳和 事務局長より、定足数について28名の出席数と780の委任状により定款第3章第22条に基づき総会が成立する旨の報告がなされる。
  - 4) 議長選出：森下誠也 会員を選出
  - 5) 書記任命：曾我文明 会員を任命
  - 6) 議事録署名人任命：奥田教宏 会員、宮崎貴仁 会員を任命
  - 7) 報告承認事項

① （公社）高知県理学療法士協会 令和元年度事業報告の承認について

宮本会長より、令和元年度事業報告について、定時総会資料に基づき説明がなされた。

令和元年度においても県民の福祉と健康の増進に寄与すべく各種の事業を展開してきた。会員総数も1,600名を超え、総額17,848千円の事業予算案については、当初の事業計画に沿って14,979千円程を執行し、事業費ペースで83.9%の執行率となり、新型コロナウイルス感染症による年度末事業の中止を考慮すると、滞りなく事業が実施されたものとする。

各部の事業については、学術研修会や講習会、新人教育プログラム、学術誌や協会ニュースの発行、管理者研修、県学会の開催、公益法人としての行政機関への参画等々、多くの公益事業を実施してきた。また、地域包括ケアシステムの構築に向けたリハ専門職3団体協議会の活動も拡大をみせた。さらに、本会の設立50周年に向けて準備委員会も立ち上げ活動を開始している。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、年度末に予定していた事業も中止となった。

次に、公益事業の拡大と共に力を注いできた事務局機能の強化についても、会員の負担軽減に繋がっている。

一方、課題としては会員数の増加が頭打ちの傾向にあり、退会および休会者数を極力減らすべく対策を講じなくてはならない。魅力ある組織に向けて更なる取組みが求められる。役員や部員の活動が会員の目に届き、活動内容がより

理解されるよう工夫も行っていく。

② (公社) 高知県理学療法士協会 令和元年度決算報告の承認について

谷脇財務部長より、令和元年度決算報告について、定時総会資料に基づき説明がなされた。資産合計 26,584,490 円であり、内訳、公益目的事業会計 889,008 円、法人合計 25,695,482 円であることが報告された。

③ (公社) 高知県理学療法士協会 令和元年度事業・会計監査報告の承認について

徳平監事より、令和元年度事業・会計監査報告の承認について、定時総会資料に基づき説明がなされた。令和元年度末に監査を実施し、帳簿並びに証拠書類が適切に処理されていたことが報告された。監査考察として以下の内容が報告された。

- ・ 本年度計画事業は中止事業があるものの概ね実施されていた。なお、中止事業に関しては適切な対応を検討されたい。
- ・ 中止事業の影響はあるものの、予算執行は本年度事業計画ならびに予算案に基づき概ね効率的執行がなされた。
- ・ 各部報告書類に関しては一部修正の必要性を認めたが、事務局提示様式に準じて作成されていた。今後も遅滞することなく提出するよう関係役員はその職責を果たされたい。
- ・ 各部は、県民の医療・保健・福祉の発展に寄与すべく、また、会員の帰属意識を向上できるよう年度事業計画の企画・立案を検討して頂きたい。
- ・ 積年の課題ではあるが、本協会の財務基盤を安定させる為にも未納会費の徴収並びに休会・退会会員数の減少に努められたい。

上記第①②③号議案について質疑はなく、表決の結果、出席構成員過半数の賛成をもって承認された。

④ (公社) 高知県理学療法士協会 令和2年度事業報告の承認について

宮本会長より、令和2年度事業報告について、定時総会資料に基づき説明がなされた。

令和2年度に設立50周年を迎え医療福祉領域における公益活動を通して積極的社会資源貢献を行い、活動は年を追うことに広がりを見せ、協会各部の事業は充実し多様化している。一方、県内における理学療法士の需給関係は均等に向かいつつあり、組織拡大の落ち着くと推測される。今後は、収支均衡を見通した事業展開を心掛け、必要性高く洗練された事業展開へと再構築していく

時期に来たと考える。

本会設立 50 周年の記念式典を 11 月に計画しており、身の丈に合った記念式典を開催し、公益法人としての社会的認知度を確かなものとする予定である。

一方、経年的展開されている各種事業は概ね継承し、緊縮予算のもとで公益性高い事業、会員の関心が高い事業が計画されている。そして、日理協との連携事業が拡大傾向にあり、全国組織と足並みを揃えながら、地域包括ケアの推進、生涯学習制度等々、会員サービスを落とさないように対応していく。県協会の独自事業については、会員の声を聴きながら成果を検証し、事業の将来的方向性を議論していきたい。

最後に、第 34 回高知県理学療法学会は西村敦司学会長のもと高知市で開催される。生涯学習プランの目指すところは主体的自己研鑽であり、多くの会員が日頃の成果を持ち寄り、活発は意見交換できるよう期待している。

事業の細部については、各部・委員会ごとにまとめているので事業計画案をご確認頂きたい。

#### ⑤ (公社) 高知県理学療法士協会 令和 2 年度事業予算 (案) について

谷脇財務部長より、令和 2 年度事業予算 (案) について、定時総会資料に基づき説明がなされた。

令和 2 年度収入合計は、20,500,000 円、支出合計は、22,845,000 円で計画している。備品購入積立金、学術奨励基金、事務局設立積立金の特別会計の収支予算額は 14,371,036 円となっている。

上記第④⑤号議案について質疑はなく、表決の結果、出席構成員過半数の賛成をもって承認された。

### 8) 議題

#### ① 新型コロナウイルス感染症に伴う事業執行について

宮本会長より、新型コロナウイルス感染症に伴う事業執行について説明がなされた。行き先不透明な状態であり、執行部としての見解として 4,5,6 月の事業計画は中止もしくは延期の対応とした。今後に関しては、他団体、日理協、コロナウィルスの影響によって決定する。3 蜜環境によって事業執行が困難なものは WEB 対応、可能なものは 3 蜜を厳守して実施する意向である。実技を伴う事業は延期を考慮しており、できるだけ速やかに実施有無を報告する。事業計画にズレが生じるが、改めて大幅な事業再編、予算補正を行わず事業執行する考えである。直近として、50 周年記念式典開催の有無に関しては、6 月の理事会で決定予定。

② 会員名簿の重複について

前岡会員より、定時総会資料における入会・転入・転出・休会・復会・退会者一覧においてなぜ氏名が重複しているのか、との質疑があった。

井上事務局長より、日理協から WEB 送信されているものを転記しており、詳細理由不明であるが今後、調査していくとの応答がなされた。

③ 50 周年記念式典について

小嶋会員より、50 周年記念式典において、健康福祉医療のプロフェッショナルとして県民に理学療法士をアピールできる場とならないか、との質疑があった。

大畑準備委員長より、コロナウィルスによる影響も考慮しながら、式典内容を理事会で検討していく、との応答がなされた。

9) 議長退場

10) 閉会のことば：井上佳和 事務局長

令和 2 年 6 月 14 日

公益社団法人 高知県理学療法士協会

会長

議長

書記

議事録署名人